

事業所理念	エミ（笑み）フル（Full・いっぱい） 笑顔あふれる場所						
支援方針	集団の中で個性を大切にし、小さなことの積み重ねからできる事を増やし、安心できる場所で、自分の気持ちを表現できるように、将来を考えながら、褒めて伸ばす支援						
営業時間	平日 休業日	11 9	時 00 30	分から 17 時 00 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<p>①健康状態の把握・・・お迎えの際の検温、お子様の様子を視診しながら、必要に応じて保護者や学校の先生に体調確認。支援中の体調の変化もきめ細かく見ていく。</p> <p>②健康の増進・・・食事、排泄等の基本的な生活スキルを身につけられるよう身辺動作が自分でできていくように支援する。</p> <p>③基本的な生活スキルの獲得・・・食事、衣服の着脱、排泄など、生活に必要な基本的な生活スキルを獲得し、身の回りの自分のできることは自分でできるように支援していく。また、自分の持ち物の管理や使った物の片付けなどを自分で行なう習慣が身につくよう支援していく。</p> <p>④構造化等により生活環境を整える・・・様々な活動の中で、行動の切り替えができるよう学習し、構造化（「どう動いたらいいのか」「何をしたらいいのか」をお子様自ら考え、安心して行動できるようにするための方法）を意識した指示や掲示物等で環境を整える支援を行う。</p> <p>また、障害特性や発達状態に合わせ、タイミングや状況を子どもが理解しやすいよう「見える化」するなど分かりやすく構造化する。</p> <p>支援プログラム（一例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送り迎え時の体調確認・検温・散歩（季節を感じる・体力づくり・経験を積み重ねる）・公園遊び（滑り台・ブランコ・砂場遊び・ボール遊びなど） ・集団遊び（鬼ごっこ・だるまさんがころんだ・ボール遊び・夏：水遊びなど）・製作（季節のもの・行事のもの）・トイレトレーニング・衣服の着脱 ・食事（おやつ）時の姿勢・持ち物の管理・時間を見て行動・構造化を意識したイラスト等の掲示、絵カードの提示をする。 					
	運動・感覚	<p>①姿勢と運動・動作の基本的技能の向上・・・日常生活に必要な基本となる姿勢保持や、運動・動作の改善、筋力の維持・強化を図っていく。</p> <p>②姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用・・・姿勢保持や運動・動作が困難な場合は、高さを調整する為椅子に座る、足置きをおく、背中を支えるクッションを入れるなど、様々な補助用具等の手段を活用していく。</p> <p>③身体の移動能力の向上・・・日常生活に必要な自力での身体移動や歩行の移動能力向上のための支援を行っていく。</p> <p>④保有する感覚の活用・・・保有する視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援する。</p> <p>⑤感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）への対応・・・一人ひとりの感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）に応じて、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行う。</p> <p>支援プログラム（一例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体操・ダンス・なわとび・ボール遊び・体幹を鍛える遊びトランポリン・ブランコ・バランスボール・足置き・散歩（五感の刺激・運動）・鉄棒・砂遊び・粘土遊び ・製作（感触・指先を動かす）・環境設定（部屋の明るさの調整、周囲の音の調整、部屋の温度の調整、落ち着ける場所づくり） ・補助具（イヤーマフ、保冷剤、ついたてなど） 					
	認知・行動	<p>①感覚や認知の活用・・・障害特性に応じた、視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に活用して必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援を行う。</p> <p>②知覚から行動への認知・・・集団活動やグループ活動の中で、活動内容を理解しやすいよう、絵カードやルール表を用いて「見える化」するなどの環境から、必要なメッセージをお子様自ら選択し、行動に繋がられるよう一連の認知過程の発達を支援する。</p> <p>③認知や行動の手掛かりとなる概念の形成・・・物の機能や属性、形、色、音が変化の様子、空間・時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援する。</p> <p>④数量、大小、色等の習得・・・遊びの中で、数量の予測、大小の選択、色の認知などの習得のための支援を行なう。</p> <p>⑤認知の偏りへの対応・・・認知の特性を踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援し、認知の偏り等の個々の特性に配慮する。また、こだわりや偏食等に対する支援を行う。</p> <p>⑥行動障害への予防及び対応・・・感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援を行なう。</p> <p>支援プログラム（一例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・折り紙、積み木などを使った創作活動（空間把握の認知形成）・パズル・トランプ・すごろく・オセロ（数の認識・人との関わり） ・声のボリュームコントロール（掲示物） ・紙粘土遊び（物質の変化と感覚の認知形成・天気・気温・日付の把握と確認） 					

本人支援	言語コミュニケーション	<p>①言語の形成と活用・・・具体的な事象や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行う。</p> <p>②受容言語と表出言語の支援・・・話し言葉や各種の文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し、表出する支援を行う。</p> <p>③人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得・・・個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、協同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行う。</p> <p>④指差し、身振り、サイン等の活用・・・指差し、身振り、サイン等を用いて環境の理解と意思の伝達ができるように支援する。</p> <p>⑤読み書き能力の向上のための支援・・・障害の特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行う。</p> <p>⑥文字等のコミュニケーション手段の活用・・・文字、記号、絵カード、わかりやすい表現等による多様なコミュニケーション手段を活用し、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する。</p> <p>⑦非言語コミュニケーション能力の獲得・・・目線、表情、身振り、手振り（ジェスチャー）、声のトーンで意思の伝達ができるように支援する</p> <p>支援プログラム（一例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする（身振りをを使う） ・歌を歌う ・早口言葉 ・言葉遊び ・帰りの会にて自分の気持ち、意見を発表する ・言葉の練習（絵カード・写真カード） ・意思を伝える（目線や表情） 	
	人間関係社会性	<p>①アタッチメント（愛着行動）の形成・・・話す、聞く、触れるなどのコミュニケーションを通して、人との関係を意識し、身近な人との関係を築いて行く。その信頼関係を基盤として友達や他の職員と安定した関係を形成するための支援を行う。</p> <p>②模倣行動の支援・・・遊びや活動の中で、他者の動きを模倣することから、社会性や対人関係がうまく築くことができるように支援する。</p> <p>③感覚運動遊びから象徴遊びへの支援・・・感覚運動機能遊びを使った遊びから、見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して、社会性の発達を支援していく。</p> <p>④一人遊びから協同遊びへの支援・・・周囲に子どもがいても無関心である一人遊びの状態から並行遊びを行い、支援者が介入して行う連合的な遊び、役割分担したり、ルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援していく。</p> <p>⑤自己の理解とコントロールのための支援・・・大人を介在して自分のできること、できないことなど自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援する。</p> <p>⑥集団への参加への支援・・・集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるように支援していく。</p> <p>支援プログラム（一例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送迎時の個別の会話 ・製作（見本を見ながら作る、上手に作っている人の作品を見ながら作る） ・ごっこ遊び ・物の貸し借り ・帰りの会（自分の経験したことや思い、意見を発表する） ・集団遊び（鬼ごっこ・ボール当てなどルールのある遊び） ・散歩（交通ルール） ・社会見学 	
家族支援	<p>①児童の発達に関する相談・助言等</p> <p>②支援内容に関する相談・助言等</p> <p>③家庭生活に関する相談・助言等</p> <p>④集団生活に関する相談・助言等</p> <p>⑤きょうだい児に関する相談・助言等</p> <p>⑥制度に関する相談・助言等</p> <p>家族のニーズに応じ①から⑥などの相談援助を事業所での対面にて実施</p>	移行支援	<p>進学先・就労先との情報共有</p> <p>進学、就労、環境変化に向けての課題提示及び実践</p> <p>インクルージョンに向けた取組の推進</p> <p>①事業所で支援し、習得した行動を学校、家庭などで同様の行動ができるように、般化を目指した支援を行う</p> <p>②学校等への訪問や受け入れの際に行った会議等を通じて、児童の心身の状況や生活環境などの情報連携を実施</p>
地域支援・地域連携	<p>関係各所との連携</p> <p>相談支援事業所、学校、放課後等デイサービス、子育て支援センター、児童相談所等</p>	職員の質の向上	<p>職員の各種勉強会や研修への参加</p> <p>内部研修・外部研修</p>
主な行事等	<p>季節の行事（初詣・卒業式・ハロウィン・クリスマス会・焼き芋等）・お誕生日会</p> <p>長期休業日（調理実習・動物園・工場見学・水遊び・支払い体験・おもしろ実験・公園へ外出・プラネタリウム見学・各種体験）</p> <p>避難訓練</p>		